

RSIT Server製品 subconfig構成時のアクセス制御/ユーザ認証 詳細設定仕様について

R04: 2020年3月10日 マイクロフォーカスエンタープライズ株式会社

対象製品/Ver.	RSIT Windows Server (バージョン 7.0 以降)	RSIT UNIX Server (バージョン 7.0 以降)
[(sub)configの構成と関係]	[Main] └ [Sub-Client Host] └ [Sub-Group] └ [Sub-User]	[Main] └ [Sub-Host] └ [Sub-User] or [Main] └ [Sub-Host] └ [Sub-User]
	Sub-Host 指定方法	・正規表現を用いて 対象IPアドレス/アドレス空間を指定 ・“%i”に続き個別IPアドレス(正規表現でなく通常IPアドレス表記)を指定 ・“%m”に続きCIDR形式アドレス空間 (正規表現でなく通常CIDR形式表記)を指定
	Sub-Group 指定方法	—
	Sub-User 指定方法	・下記書式にて指定。User等 正規表現規則に従い指定。 user[%group][@host] (左の[]は省略可の意)
[アクセス制御]	設定箇所と設定項目	a) [Client Host Access Control]設定画面: b) [Group Access Control]設定画面: c) [User Access Control]設定画面: ～各指定画面から“Allow”, “Deny”を指定。 (“rsshd_config.xml”ファイル上は、各下記項目に展開) “AllowHosts”, “DenyHosts” “AllowGroups”, “DenyGroups” “AllowUsers”, “DenyUsers”
	指定方法	・正規表現規則に従い指定 ・グループ名, ユーザ名にドメイン名を指定する場合、ドメイン名の後ろに“/”(スラッシュ)か、“%#”(円マーク, バックスラッシュを2つ)記述する。
	複数項目間優先順位	・下記判定ロジックにて決定。 1) [Client Host AC]設定にて 該当“Deny”(拒否)指定が存在するかを確認 a) 該当有 ⇒ アクセス拒否 b) 該当無 ⇒ 2)へ 2) [Group AC],[User AC]設定にて 該当“Deny”(拒否)指定が存在するかを確認 a) 該当有 ⇒ アクセス拒否 b) 該当無 ⇒ 3)へ 3) [Client Host AC],[Group AC],[User AC]のいずれかに “Allow”(許可)指定が存在するかを確認 a) 全てに“Allow”(許可)指定の記述なし ⇒ アクセス許可 b) いずれかに“Allow”(許可)指定の記述あり ⇒ 4)へ 4) “Allow”(許可)指定について条件を確認 a) 該当有 ⇒ アクセス許可 b) 該当無 ⇒ アクセス拒否
[ユーザ認証]	設定箇所と設定項目	・下記設定ファイル“AllowedAuthentications”キーを使い指定設定キーに“none”(なし or 拒否)は存在せず、最低一つの認証方式を指定要。 a) [Main] (=“sshd2_config”) b) [Sub-Host] c) [Sub-User]
	複数項目間優先順位	・次の順番に設定内容を読み込み、後から読み込んだ内容を上書き優先。 a) [Main] → b) [Sub-Client Host] → c) [Sub-Group] → d) [Sub-User] すなわち、重複同一項目がある場合は、c), b), a) の優先順位に従い適用。
[補足]	(上記項目に関する)設定反映タイミング	・“rsshd_config.xml”ファイルに保存以降、次回接続時より有効。
	追加指定	—
	準拠する正規表現規則	・Basic Regular Expression (BRE) に準拠 ・POSIX 拡張構文に準拠: 「Regular Expressions」 < http://www.opengroup.org/onlinepubs/7990989775/xbd/re.html >
	注意点	・“DenyHosts”は、IPv4/IPv6 両アドレスを指定のこと。 ・“DenyHosts”は、IPv4/IPv6 両アドレスを指定のこと。